

表紙に使用している画像は、小川和紙の「工芸紙」です。いくつかの加工技術を重ねあわせることにより複雑な模様の紙に仕上げることが出来ます。様々な工芸に使われることから、広く「工芸紙」と呼ばれています。

こどもまんなか  
(みどりが丘小学校編)  
裏表紙に関連記事

＼必読！／

紙面で読む伝える

大型特集

P.2 - 10 未来を拓くカギは共創

P.15 - 18 一般質問「7議員」の視点

P.19 シリーズ 16人の一歩  
進み続ける議会 Vol.11

＼見応えあり！／

動画で見る魅せる



こどもまんなか  
～みどりが丘小学校編～  
&「おがわぎかい」編集の現場より

No.119

発行...埼玉県小川町議会

令和8年3月定例会

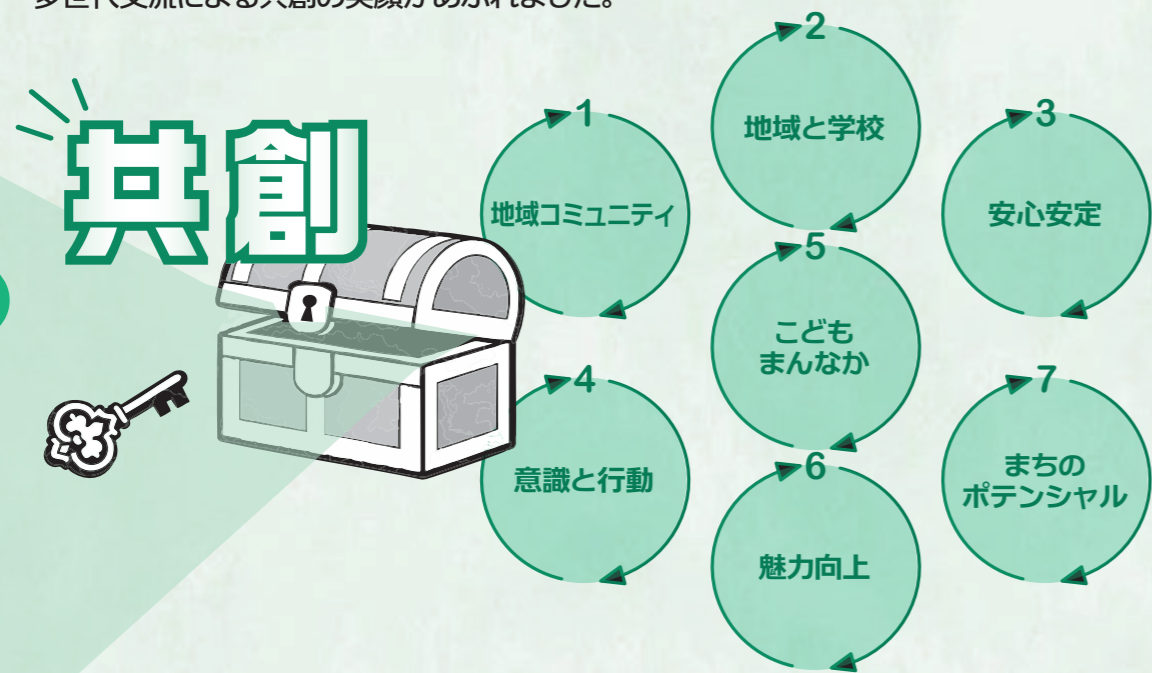
会期:2月26日～3月19日

2026.5.1発行

みどりが丘小 新一年生の皆さん

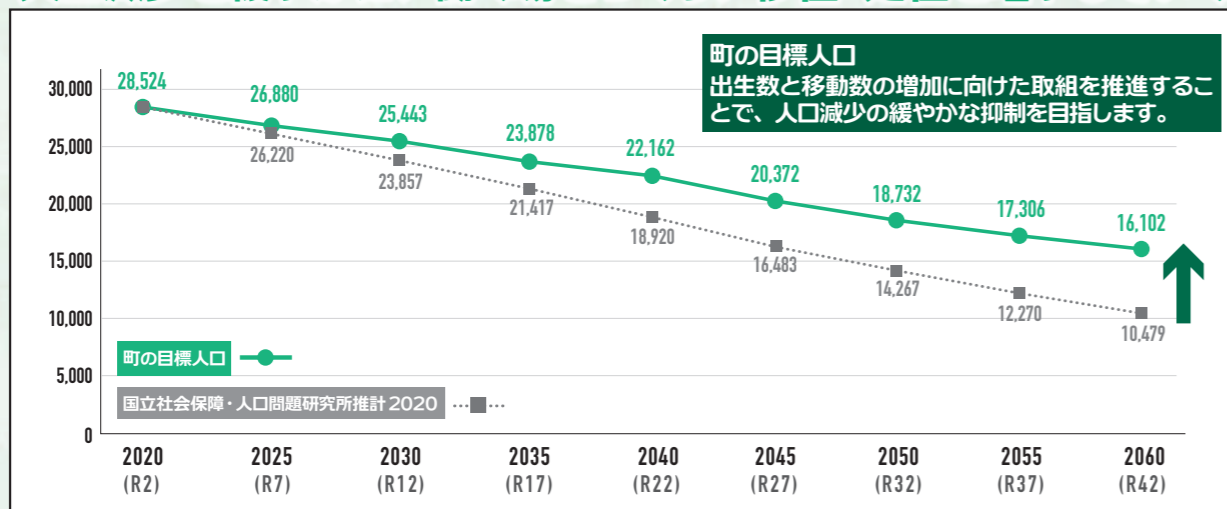


再生した学校跡地で行われたマルシェ。星の子学童クラブの子どもたちが一日店長を務めました。多世代交流による共創の笑顔があふれました。



次ページからは  
議会が見る「7つの基本目標」

### 人口減少を緩やかに、働く場をつくり、移住・定住を増やしていく



# 未来を拓く カギは共創

今年度予算は、第6次総合振興計画のスタート年に当たり、町のコンパクト化・ネットワーク化、安全・安心、参画と協働などによるまちづくりの視点が示された。議会は、今後10年の小川町発展のキーワードの一つは「共創」であると判断した。4ページから、7つの基本目標ごとに代表的な事業をピックアップし、議会視点でひもどく。

## 令和8年度 予算審議で見えてきたこと

### 新たな10年のまちづくり 第6次総合振興計画 町民×議会×行政



### 7つの基本目標

- ① 人が輝くまち  
〈参加と協働の推進〉 P.4
- ② 豊かな心をはぐくむまち  
〈教育・文化の振興〉 P.5
- ③ 安全で住みよいまち  
〈都市基盤の充実〉 P.6
- ④ 快適な環境のまち  
〈生活環境の整備〉 P.7
- ⑤ 健康で安心して住めるまち  
〈保健・医療・福祉の充実〉 P.8
- ⑥ 活力ある産業のまち  
〈産業の振興〉 P.9
- ⑦ 自立した経営のまち  
〈計画の推進〉 P.10



「小川町第6次総合振興計画」は町HPで閲覧できます



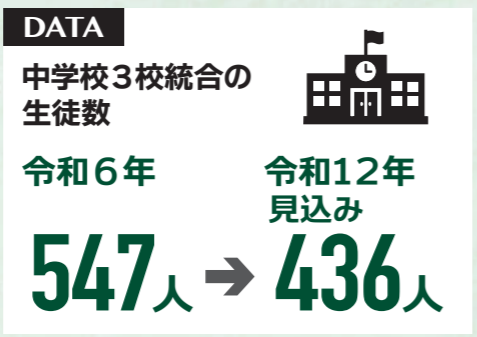
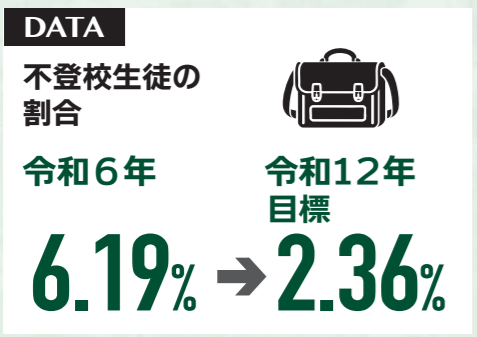


### 7つの基本目標 ②

# 豊かな心をはぐくむまち

〈教育・文化の振興〉

総合振興計画P.38  
第3編 第2章「豊かな心をはぐくむまち」



地域スポーツクラブ等との連携により、教員の長時間労働の解決と部活動の選択肢の確保を期待します。

小川高校との連携



学校、地域社会、保護者の役割が見直されている。町の未来を託す子どもたちに、私たちは何ができるのか。学校が担ってきた部活動を地域との協力で充実を図る。

# 「急げ 地域と学校の連携」

**適正な環境の整備を望む**

Q 小学校教育に向けた整備等は、令和9年度の開校に向けて、中学校の施設を小学校として安全に使用できるように改修を図ります。中学校にはない花壇（学校ファーム）の整備をはじめ、階段の転落防止や、外廊下へのフェンスの設置を予定しています。また、グラウンドも小学校仕様に変更し、遊具の整備を行っていきます。

**心と体の成長と達成感を**

Q 部活動の地域展開について、新年度の動きは、

A 既に実施しているサッカー部のほか、陸上競技部やバスケットボール部等も段階的に休日の地域展開を予定しています。小川中学校を拠点に、公共施設や小川高校を活用する考えです。学校教育への造詣が深く、学校と地域クラブの調整力に長け、生徒を第一に考えている方をコーディネーターに人選します。



Gikai's eye

**グラウンドの狭さは課題**

学校再編により部活動の数は維持できる見通し。複数の部活動が利用可能なグラウンドの拡張や休日の活動場所等、今後の工夫改善に期待。



高橋文明さん(大関町)

早く

やりたい部活がなく、競技を辞めてしまう子もいます。一刻も早い地域との連携を強く望みます。



### 7つの基本目標 ①

# 人が輝くまち

〈参加と協働の推進〉

総合振興計画P.28  
第3編 第1章「人が輝くまち」



現在は、5つの町内会が協力をして、毎年1屋台を出しています。屋台の保存ができるよう議論していくことが大切だと感じています。

令和4年の七夕まつり

**町民が共に支え合う町に**

Q 事業内容は、

A 現在、少子高齢化や地域コミュニティの希薄化、ライフスタイルの変化に伴い、区長の成り手不足や加入率の低下といった課題が顕在化しています。この課題解決に当たり、行政区の再編を希望する地域間の協議を促進・支援するため、令和8年度から新たに創設しました。

再編に向けた協議を行うために、1会計年度当たり5万円を構成する行政区の数に乘じた額を交付し、十分な話し合いができる環境を整えます。交付期間は、協議会を開始した年度とその翌年度の最大2年間とします。

Q 今後の具体的な手続と流れは、

A 区長会で周知します。再編を希望する2つ以上の行政区から「町に申し出↓規約の作成↓協議会の設置」を経て、交付金の申請を行います。

**行政区再編事業交付金(10万円)**

Q 事業内容は、

A 現在、少子高齢化や地域コミュニティの希薄化、ライフスタイルの変化に伴い、区長の成り手不足や加入率の低下といった課題が顕在化しています。この課題解決に当たり、行政区の再編を希望する地域間の協議を促進・支援するため、令和8年度から新たに創設しました。

再編に向けた協議を行うために、1会計年度当たり5万円を構成する行政区の数に乘じた額を交付し、十分な話し合いができる環境を整えます。交付期間は、協議会を開始した年度とその翌年度の最大2年間とします。

Q 今後の具体的な手続と流れは、

A 区長会で周知します。再編を希望する2つ以上の行政区から「町に申し出↓規約の作成↓協議会の設置」を経て、交付金の申請を行います。



Gikai's eye

**“行政の関わり”がカギ**

10年前から行政区の維持が不安視されていたが、具体的な一歩が踏み出された。「共創」のもと、行政と町民双方からの積極的な関わりが不可欠。



下川原友一さん(仲町)

担い手

世帯数が減少する中で、一番の問題は高齢化に伴う役員の成り手不足と町内行事の担い手不足です。



令和5年度に実施した「区の運営合併に関するアンケート」で62行政区の約半数から「再編が必要」との回答が出た。行政区間の話し合いがよいよ始まる。

# 「つながろう 地域コミュニティ」



### 7つの基本目標 ④

## 快適な環境のまち

### 〈生活環境の整備〉

総合振興計画P.75  
第3編 第4章「快適な環境のまち」

#### DATA

アライグマの  
処分数



令和2年

144頭

令和6年

338頭

#### DATA

プラスチック資源化率



分別を徹底すれば

ほぼ100% リサイクル可能に



収集したプラスチックごみ。この中にプラスチック以外の物が含まれていると、リサイクルできなくなってしまう。

(株) リステム大里工場



生物多様性を維持し、地球環境を守ることは、今に生きる私たち共通の使命。生活の意識改革から循環型社会の実現を目指す。

# 「変えよう 意識と行動」

生物多様性を維持し、地球環境を守ることは、今に生きる私たち共通の使命。生活の意識改革から循環型社会の実現を目指す。

### プラ新法に合わせたごみの分別

運搬業務委託料(3154万円)

Q プラスチックごみの出し方が変わるが、その周知の方法は。

A 既に、広報3月号でも特集を組みましたが、ごみ分別促進アプリでも表示するようにします。

Q ごみ集積所に表示することが効果的だと思いが。

A 環境美化推進委員と連携して進めていきたいと考えています。

### 小動物の処分を強化

小動物処分委託料(264万円)

Q 以前から処分はしていたと思うが、予算化した意図は。

A アライグマの捕獲数は年々増加しています。これまで職員が行っていた殺処分及び捕獲に使用した箱わなの洗浄を専門業者に委託するものです。職員の負担軽減を図るとともに、効果的かつ安定的な業務につなげていきます。



Gikai's eye

### さらなる周知の工夫を

快適な環境のためにはごみ問題、鳥獣被害の解決に向けての取組が重要。成功の鍵は、町民の理解と協力。周知の徹底が欠かせない。



周知

弁当や惣菜のパック・トレーや冷凍食品の包みのプラごみが高齢化により増える。イラストでわかりやすく表示を。

勝山緑郎さん(東小川5)



### 7つの基本目標 ③

## 安全で住みよいまち

### 〈都市基盤の充実〉

総合振興計画P.55  
第3編 第3章「安全で住みよいまち」

#### DATA

町の刑法犯  
認知件数



令和元年

129件

令和7年

187件

#### DATA

路線バス  
乗降者数



令和元年

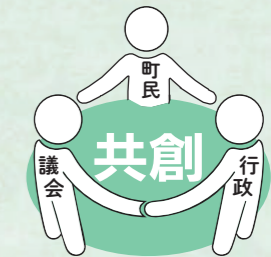
94万2525人

令和6年

83万1426人



防犯カメラが設置される長谷公園前をセーフティドライブで通過する路線バス。どちらも地域にとって欠かせない存在です。



持続可能なまちづくり。防犯カメラの新設で安心できる生活環境と、路線バス・タクシー事業者への支援で安定した移動手段を守る。

# 「守ろう 安心安定のくらし」

持続可能なまちづくり。防犯カメラの新設で安心できる生活環境と、路線バス・タクシー事業者への支援で安定した移動手段を守る。

### 物価高騰・運転手確保に支援

公共交通緊急支援事業(1242万円)

Q 支援の背景や目的等は。

A 高騰する燃料費に対して支援を行います。また、路線バスやタクシーの運転手不足は全国的な課題で、町内を運行する事業者においても慢性的な不足が続いています。人材確保の取組として、ラジオ広告・求人チラシ作成・ホームページ整備・入社祝い金支給・処遇改善を支援し、公共交通の維持及び確保に努めていきます。

### 防犯カメラで犯罪抑止

防犯カメラ設置事業(326万円)

Q 取り付ける場所や目的等は。

A 令和8年度は4台を見込み、被害の発生状況や警察の要望等を踏まえて「栃本親水公園・八幡台グラウンド公衆便所・みどりが丘長谷公園・道の駅おがわまち駐車場」への設置を予定しています。公園や公共施設周辺における犯罪抑止と公有財産の保全を目的として、プライバシーに配慮しながら整備を進めます。



Gikai's eye

人口減少に負けないまちづくりを町民生活の安心・安全・安定に、防犯力の向上と移動手段の維持は欠かせない。人口減少に負けないまちづくりの「要」となる取組を注視したい。



交通

公共交通活性化協議会 五十嵐康博 委員

議会代表として参画しています。地域で暮らし続けるために欠かせない移動手段の確保に向け、関係者とともに取り組んでいきます！



### 7つの基本目標 ⑥

## 活力ある産業のまち

### 〈産業の振興〉

総合振興計画P.105  
第3章 第6編「活力ある産業のまち」

#### DATA 認定農業者※数

※効率的で安定した農業経営を目指し、経営改善計画を市区町村に提出して認定を受けた農業者



令和6年 49人 → 令和12年 目標 67人

#### DATA

小売業商店数

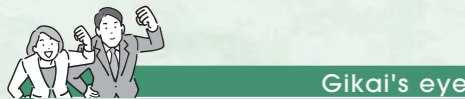


令和6年 116店 → 令和12年 目標 103店



生産者が、創意工夫やたゆまぬ努力でつくる「おがわん農産物」です。都市住民へのプロモーションは、町の知名度アップにもなります。

**ブランディングで知名度アップ**  
おがわん10周年記念プロモーション(200万円)  
Q この事業の概要は。  
A 平成28年度に小川町元気な農業応援計画を策定し、10周年を迎えるに当たり、これまでのプロモーション及び販売促進に加え、都市住民をターゲットとした農業体験の提供に取り組んでいきます。この農業体験を通じて、小川町を身近な「新たなふるさと」と感じてもらいたいと思います。

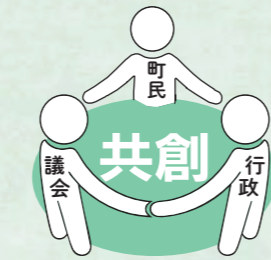


**産業を育てるのは町全体で**  
産業振興の種まきとしては共に優れた事業。今後、産業の芽が出て大樹になるよう育てるためには、当町全体の魅力・活力の向上も必要不可欠。



田村修一さん  
(みどりが丘4丁目)

いいね!  
企業誘致によって、特に若い人に雇用の場が増えれば良いと思います。



地域資源を磨き活かして「小川町を選んでもらう理由」に。「おがわん」から企業誘致まで、関係人口の増加と若年世代の定着を目指す。

# 「めざせ町全域の魅力向上」



### 7つの基本目標 ⑤

## 健康で安心して住める

### まち 〈保健・医療・福祉の充実〉

総合振興計画P.86  
第3編 第5章「健康で安心して住めるまち」

#### DATA

子育て支援センター利用者数



令和6年 5162人 → 令和12年 目標 6000人

#### DATA

学童保育児童数



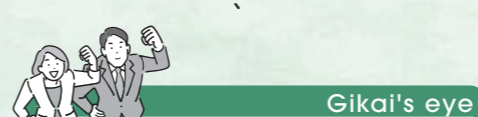
令和5年 296人 → 令和11年 目標 237人



少子化の一方で、放課後学童保育室の利用者は増加傾向にあります。学校と保育室の連携により、子ども達の笑顔を!

八和田小児童の音楽集会

**妊婦が接種↓乳児に効果**  
RSウイルスワクチン接種(90万円)  
Q どのような効果が期待できるか。  
A RSウイルスは、小児や高齢者に呼吸器症状を起こすウイルスで、2歳までにほぼ全ての乳幼児が感染すると言われています。母子免疫ワクチンは、妊婦の方が接種することで母胎内につくられた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、出生時から予防効果を得ることができるとされています。



**もっとできることがある**  
議会は、「こどもまんなか応援サポーター宣言」をした。新規事業に対しても子ども応援の視点からチェックを続けていく。



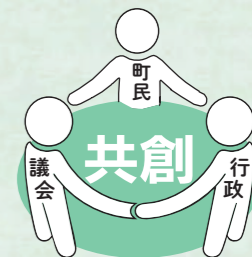
八和田学童保育室  
竹内美咲子さん

楽しく  
学童保育を希望する保護者の割合は増加しています。地域と保護者の協力に感謝しながら、楽しい一日を過ごせるよう職員一同で努力しています。



保護者が安心して働ける基盤づくりは行政の責任。妊娠・出産・育児と切れ目のない子育て環境の整備が進む。

# 「進めようこどもまんなか」



# 「生かせ まちのポテンシヤル」

町のポテンシヤルは高い。移住相談件数と移住者数の推移は二つの証である。小川町を選んでくれたフレッシュな町民の「力」を生かす。

## 7つの基本目標 ⑦

# 自立した経営のまち

### 〈計画の推進〉



総合振興計画P.118  
第3編 第7章「自立した経営のまち」

#### DATA

地域おこし協力隊員数



令和元年 1人 → 令和8年 8人

#### DATA

令和元年 令和6年

移住相談件数 607件 → 791件

実移住者数 33人 → 76人



地域おこし協力隊員がプレゼン。小川町では令和元年から合計19名の隊員がまちの活性化に貢献してきました。

### 卒隊後も活躍を

地域おこし協力隊事業(3600万円)

Q 起業・事業承継支援補助金による新年度の可能性は。

A 隊員が任期2年目から退任後1年以内に、起業または事業承継を行う際に要する経費の一部を補助するもので、3人分を見込みました。令和7年度末をもって卒隊する2人から、民泊や飲食店等の開業を目指し準備をしていきたいとの希望を受けています。卒隊後も町内で起業や就業ができるように支援をしていきたいと考えています。

### 大学・高校との連携

ひつくりSDGSプロジェクト(1500万円)

Q 大学との連携協定の目的と内容は。

A 令和7年11月に立教大学コミュニティ福祉学部と県立小川高等学校と小川町で「地域人材の育成」及び大学で学んだ学生を地元に戻して、学んだことを実践してもらう「人材還流」を目的に連携協定を結びました。まちづくり等への参画や人材育成に資する活動などに対して補助額を拡充し支援していきます。



Gikai's eye

### おがわまちプライド

私たち町民には、自らが町を知り、良さを実感し、さらに磨きをかけるための実働が求められる。町がどれだけ応援できるか問い続けたい。



### 挑戦

昨年11月に小川町、立教大学と本校で、人材還流に関する三者連携を締結しました。地域活性化を目標に、地域の課題に挑戦し続ける、自立した生活者の育成につながる学びを、町とともに目指していきます。

小川高等学校 校長 黒澤拓也さん

# 議員が質した 211のQ&A

## 令和8年度 一般会計予算 を可決

# 119億 9000万円

(前年度比7.4%増)

今定例会では、令和7年度補正予算、特別会計予算、条例改正、人事案件についても白熱した議論が交わされました。町民生活に関係の深い議案についてQ&Aでお届けします。



3月定例会の会議録は令和8年6月上旬から見られます。左の二次元コードからアクセスするからインターネットで「小川町議会 会議録」で検索してください

### Pick up!

## 学童クラブ 2施設に 再編

## 水道料金の 基本料金 4月9月 から減免

知っておきたい！この数字

### 条例の改正 子ども子育て支援金制度

## 安心して子育てできる社会の実現へ 新たな支援金制度が始まる

子ども子育て支援金制度とは、社会全体で子ども子育て世代を支えるため、令和8年4月から開始する新しい制度で、原則として全世帯や企業から医療保険料とあわせてご負担いただきます。子どもがいる世帯の拠出額が増えるよう、18歳未満のお子様の分を18歳以上の被保険者が負担する仕組みとなっています。

### この制度の周知は。

制度については、既にホームページ等で周知しているところで、4月以降、町広報でお知らせする予定です。なお、納税者に対しては、納付書発送時にチラシを同封してお知らせします。

### 学童クラブ条例の改正

## 小学校の敷地内に学童クラブを新設 働く保護者への支援広がる

小学校の再編に伴い学童クラブが2つに再編されるが、保護者の理解は得られたか。

A 物価高騰や支援員の確保など保護者会による運営が困難なことから、町による運営の実施を求めるとの要望が出されています。定期的な学童クラブ代表者会議において、意見交換をし、合意形成を図りながら進めてきました。

### 感謝と期待



友徳さん

美希さん

2人で働いているので、学童はとても助かります。感謝しています。新しい学童にも期待しています。

一皇さん

凛々子さん

大橋さんファミリー



小川町議会だよりは

町民登場に「タワフル！」

広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます。

水道事業会計

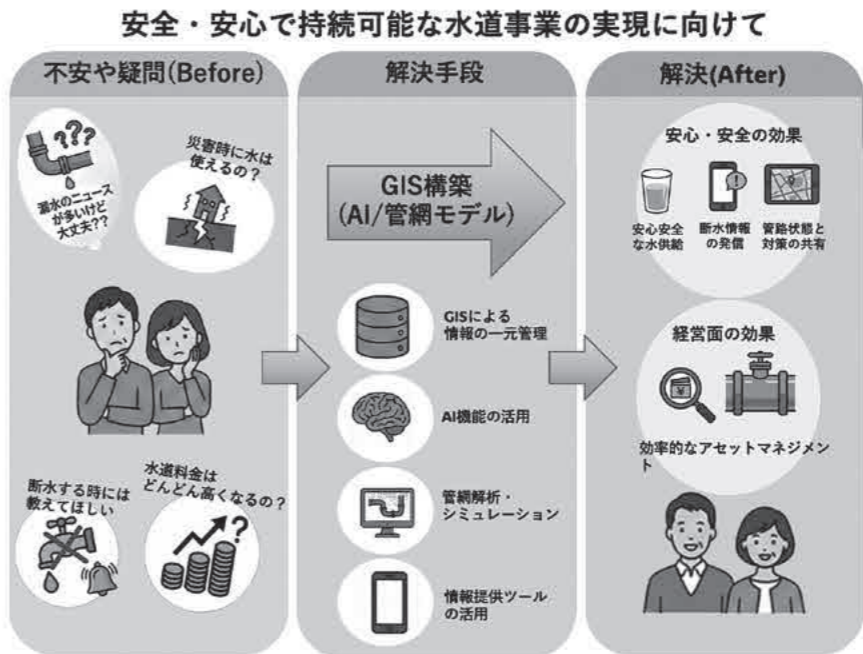
給水台帳を電子化

AIで工事や災害時の対応力を向上

**Q** 営業外収益の他会計補助金が約1億6000万と高額だが。

**A** 4月から9月まで水道料金の

基本料金を減免する分を一般会計から繰り入れるものです。さらに、給水台帳の電子化に取り組む費用の一



安全安心のため水道事業にもDXを活用。おいしい水を担保します。

部について、国の交付金の活用を予定しているためです。この電子化への取組は、AIと水理計算システムを導入し、工事や災害時の対応の際、断水影響範囲の特定や復旧作業の短縮が可能となり、さらに管路の劣化診断などを可能とし、効率的な管路更新を進めることができます。

下水道事業会計

**Q** 公共下水道収益は約2400

万円を増を見込んでいる。今後、光熱費や人件費の増加が見込まれるが、見直しは。  
**A** 使用料の改定について、5年に一度検討していきます。  
**Q** 公共下水道の下水管で、東小川やみどりが丘の下水道管は老朽化しているが、大丈夫か。  
**A** 管路の清掃時に点検を行って、今のところ問題ありません。

介護保険特別会計

認知症への理解を深めたい  
相談や訪問の取組を継続

**Q** 認知症総合支援事業費が減額になったわけは。

**A** 物忘れ相談の件数が減っており、減額しました。令和8年度も相談窓口を月1回開くことを想定し、同様な予算を計上しています。また、認知症初期集中支援チームとして、医療や福祉の専門職及び長生き支援課職員で訪問しています。困難な事例等について、介

につながらず、対応していきま。身近にも認知症が疑われる方が見受けられるが、なかなか相談に行こうとしない。この事業の周知が更に必要かと思うが。  
**A** 現在、広報等で周知していますが、さらに様々な媒体を駆使して周知できるよう取り組んでいきます。

令和7年度 一般会計補正予算

リリックホール棟 解体後の利活用  
新たに防災倉庫を設置

**Q** リリックおがわホール棟の跡地に防災倉庫が予定されているが、必要性は。

**A** リリックおがわは自主避難場所等や雪害等による交通遮断時に一時避難所として活用される重要な公共施設です。これまでホール棟に災害用物資を保管していましたが、解体に伴い、新たに倉庫の整備が急務となりました。また、既存の防災備蓄倉庫の搬出入路は1か所のみという課題があり、道路崩壊等により道路が寸断される事態も想定されます。こうしたリスクを踏まえ、防災地区拠点の敷地内に新たな倉庫を設置することが不可欠です。

新型コロナワクチン

**Q** 新型コロナワクチン接種委託料が減額した理由は。  
**A** 国の助成金の廃止に伴いワク

チン接種の自己負担額(3000円)を廃止し、当町を含めた比企地域の市町村では接種料を120

00円程度に設定しました。また、日常生活に戻ってきたことによる新型コロナウイルスへの関心の薄れなどが要因と考えられます。

西小学校への改修

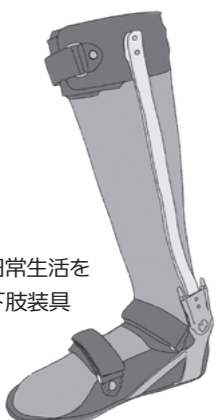
**Q** 旧西中学校を西小学校へ改修するようだが、工事の詳細は。

**A** 校舎・体育館照明器具のLE

D化、非常用発電設備、特別教室及び体育館の空調設備を新たに設置します。  
**小川中学校体育館**  
**Q** 非常用発電機の新設に当たり、窓をペアガラス(2重化)にするなどエアコンの効率化、断熱化を実施すべきではないか。  
**A** 現時点では、令和15年度までに効率化を施す考えです。

補装具購入を支援

**Q** 補装具費の支給額が増額要求された理由は。  
**A** 補装具は障害のある方の日常生活を支える大切な器具です。短下肢装具、車椅子などの補装具購入等の申請に合わせ、年度内に支給します。



障害者の日常生活を支える短下肢装具



使い勝手、便利機能、安全対策は児童目線で。改修工事で20~30cmの転落防止柵を設置(緑色部分)。着々と西小学校化が進みます。

小川町議会だよりは

写真に「タワール」

写真は編集委員が「撮る」を選ぶ。キャプション(写真説明)も工夫します。



小川町議会だよりは

情報に「タワフル」

用語解説はじめ関連情報への二次元コードなど「読者目線」の編集を心がけます。

# 7の視点 一般質問

「歩いて・見て・聴いた」ことを踏まえ、議員自身の提言を交えて町に質す。人口減少の進む近未来に向け「賢く縮小」していくための16人の模索が続く。

皆さんはどのテーマに関心がありますか？

P.18 **ごみ処理**

P.18 **高齢者の安心**

P.17 **防災DX**

P.17 **映像発信**

P.16 **ハイキング**

P.16 **選挙改革**

P.15 **学校給食**



**Q** 当時の農産物や食文化を、給食や食育にどう反映させているか。  
**A** 学校教育課長 可能な限り、地元産、特におがわん野菜や有機野菜の活用に努めています。食育面では「おがわ学」や家庭科の授業等を通じて直接農家の方から話を聞き学ぶ機会を設けています。



新学校給食センター建設予定地

**Q** 質の向上は図られるのか。  
**A** 学校教育課長 質を向上させるためではなく、食材費高騰に対応し、質を維持する措置です。

**Q** 4月から小学校では無償化になる予定だが、中学校では月額1200円、年額1万3200円増える。町独自の支援策は。  
**A** 学校教育課長 給食費の負担軽減策について関係各課と検討し、令和8年度一般会計当初予算の中で対応します。



たかはし 高橋さゆり議員が町に問う！

## 学校給食

**値上げによる質の向上は**  
**答弁** 食材費高騰に対応し質を維持します

**Q** 現学校給食センターの機能等は十分か。近い将来に予定されている新給食センター更新の進捗は。  
**A** 学校教育課長 劣化状況調査で、施設の老朽化が進行し、長期運用には耐えられない状況です。基本計画の策定後、基本設計、実施計画を経て、新給食センターの整備を進めていきます。

給食が楽しみです。早く食べてみたいです。(れおさん)



Vol.33 Mini Interview  
オガワマチのこと・ギカイのこと  
「一緒に見よう、考えよう」  
P.18までつづきます！

### 入学して楽しみなことは？ みどりが丘小 新一年生

公開します ○…賛成 ×…反対

## 審議した主な議案



議会の全文記録は「会議録」で公開しています。会議録は町議会と町立図書館に設置しているほか、インターネットでも公開しています。左の二次元コードからアクセスするか、「小川町議会 会議録」で検索してください。  
※3月定例会の会議録は6月上旬頃に公開されます。

議案名	田中 立男	関根 慶則	田端 良成	岡部 久志	稲村 環治	鈴木 秀尚	五十嵐 康博	笠原 規弘	大戸 久一	田中 照子	笠原 英彦	高橋 功人	高橋 さゆり	山口 勝士	島崎 隆夫	高瀬 勉	審議結果	
補正予算 令和7年度一般会計補正予算(第8号) 121億1761万円	×	欠	○	○	○	○	○	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
令和8年度一般会計予算 119億9000万円	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
令和8年度国民健康保険特別会計(事業勘定)予算 35億1422万4000円	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
令和8年度後期高齢者医療特別会計予算 6億7899万7000円	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
令和8年度介護保険特別会計(保険事業勘定)予算 37億382万5000円	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
令和8年度水道事業会計予算	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
令和8年度下水道事業会計予算	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
人事 副町長の選任について(矢島富男氏)	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	-	同意

※一印は議長。議長は賛否同数の場合のみ、「議長裁決」として採決に参加します



## 一部事務組合議会から報告

一部の行政サービスを複数の市町村が共同で行うための団体が一部事務組合です。構成市町村の議会から議員を選出しています。

### 「埼玉SMART」総合実践訓練を視察

比企広域市町村圏組合

令和8年2月4日にフレサよしみで実施された埼玉県特別機動援助隊(SMART)の訓練を視察しました。大型バスを含む多重衝突事故を想定した現場での救出救助活動。鬼気迫る消防機関及び医療関係者の姿に「備え」の重要性を再認識しました。

●令和8年度予算総額…36億9000万円 → 小川町負担分…5億7000万円

(内訳) 一般…1000万円 消防…5億3000万円  
斎場…2000万円 審査会…1000万円



「消防・医療・航空隊が力を合わせて県民の安心を守るため、訓練を実施しています」  
訓練統括副責任者  
矢島 修さん(大塚二)



訓練の積み重ねで防災力向上に

### プラスチック類処理の変更とごみ焼却場の解体

小川地区衛生組合

◎「プラスチック資源循環促進法」に基づく中間処理施設への収集運搬費3154万円

◎ごみ焼却場の解体工事に3億2000万円

(今年度から、確認された汚染土壌を適切に除去するとともに、解体工事が進められます)

●令和8年度予算総額…13億4000万円 → 小川町負担分…4億5000万円

(内訳) し尿処理…7000万円、じん芥処理…3億8000万円



**選挙改革**  
 たかはしいさお  
 高橋功人 議員  
 が町に問う！

**選挙管理委員会へ働きかけを**

答弁 具体的な資料を提示していきます

**Q** 投票所やポスター掲示場所の変更は、地域の実情を踏まえて行われているが、近年、当町で大きく変化していることは何か。

**A** 総務課長 第1に人口減少と高齢化の進行です。第2に期日前投票制度の普及により期日前投票の利用者が大幅に増加しています。

**Q** 近隣市町の見直し状況は。

**A** 総務課長 東松山市・滑川町では、特定地域の人口増に対応するため、投票所やポスター掲示場を増設しています。嵐山町・とさかわ町では、人口減少等による投票所間の選挙人の数の均衡を図るため、投票所やポスター掲示場を削減しています。このように、近隣自治体においては、様々な対応がなされています。

**Q** 当町でも、現状の選挙全体の

見直しを図るため、選挙管理委員会に働きかけていくべきでは。

**A** 総務課長 事務局としては、時間帯別投票状況などの実態調査を分析し、先進事例を調査研究、経費削減効果の試算、有権者への検証など具体的な資料を提示していきます。

●その他の質問  
 ・全重協「秀作展」の準備は



投票率向上に資する改革を



**ハイキング**  
 かさはらのりひる  
 笠原規弘 議員  
 が町に問う！

**積極的なコースの拡充策を**

答弁 必要な投資を検討します

**Q** コースの管理状況は。

**A** にぎわい創出課長 行政区等に歩道の草刈り、トイレやあずまの清掃を実施してもらっています。大きな樹木は、町が業者に撤去作業を委託しています。

**Q** 駅や道の駅等にコースマップが設置されていないが。

**A** にぎわい創出課長 通信状況が不安定な山の中ではハイカーが不安になるため、紙のマップを充実させ、設置場所を拡充します。

**Q** 山から降りてきた方が町内の営業中の店を探している光景をよく見る。観光ハイカーや町内事業者への情報提供のために、簡易カウンターの設置とデータの公表を。

**A** にぎわい創出課長 民間事業者への有益な情報提供になると考えます。先進地の皆野町の問い合わせ



登山口に設置された簡易カウンター

わせ、設置を研究します。

**Q** 民間事業者が安心して投資できるよう、町が先頭に立つてハイキングコースの拡充策をすべきではないか。

**A** 町長 ハイキングコースは町の貴重な観光資源であるとともに、町民の健康増進に寄与するものです。活用してもらえよう適切な管理と必要な投資を検討します。



**映像発信**  
 いなむらじょうじ  
 稲村瑋治 議員  
 が町に問う！

**映像発信活用の検討は**

答弁 大切な手段であると認識しています

**Q** シティプロモーションの観点で、映像発信の活用について町はどのように考えているか。

**A** にぎわい創出課長 映像発信は、町のPRやブランド価値創造のための大切な手段であると認識しています。戦略的な視点を持つて取り組みたいと考えています。

**Q** 戦略的な視点とは。

**A** にぎわい創出課長 目的を明確にし、対象は誰なのか、例えば、「若年層なのか」「子育て世代なのか」。これに合った適切な手段としてどんな媒体を選定するか、どのような視点を持つことと捉えています。

**Q** 映像発信でシティプロモーションを行う特化型の地域おこし協力隊員募集の検討は。



映像発信を活用してまちに「にぎわい」を



**防災DX**  
 たばよしなり  
 田端良成 議員  
 が町に問う！

**当町の基本的な考え方は**

答弁 町民の安全・安心の確保に重要です

**Q** 防災DXについて、当町の基本的な考え方は。

**A** 防災地域支援課長 町民の安全・安心を確保するため、防災DXは、災害時における情報伝達の迅速化、受付業務や避難者管理の効率化、さらには物資の適切な配給に対して、極めて重要だと考えています。

**Q** 現在、発災時に当町が利用できるデジタル技術はあるか。

**A** 防災地域支援課長 一例ですが「埼玉県災害支援オペレーション支援システム」を活用しています。ホワイトボードや電話を中心とした対応ではなく、現場との情報共有の効率化と、的確な意思決定を支える仕組みとして、活用しています。

**Q** 避難所にて、電力とインターネット



被害状況が一目でわかる支援システム

ネット接続環境は、確保できるか。

**A** 防災地域支援課長 電力確保については、発電機や蓄電池、ソーラーパネルなどの購入を随時進めています。次に、インターネット接続環境は、役場庁舎や、一部の避難所では整備されているものの、多くの避難所等では不十分です。今後は、整備を進めていくことが重要であると捉えています。



見出しに「ダブル」

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

体育が楽しみです。走ることが好きです。(なぎさん)

図工でいろいろなものを作ることが楽しみです。(こはるさん)

勉強が楽しみです。さんずうが好きです。(えいたさん)

みんなと遊ぶことと学童が楽しみです。(さなさん)



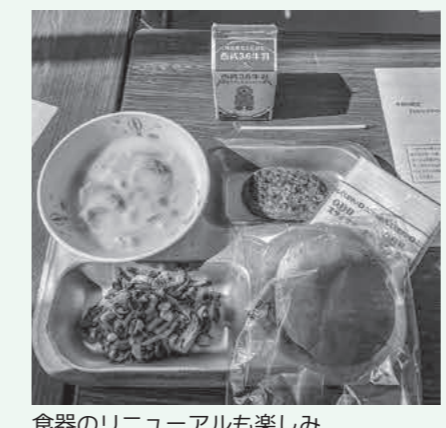
高齢者の安心  
移動手段の確保は  
関係各課と連携して研究します



ごみ処理  
新施設建築に向けた考えは  
信頼関係を構築し丁寧な協議を進めます

Q 高齢者の一番の願いは、移動手段の確保である。町の取組は。  
A 長生き支援課長 公共交通機関の維持・充実に努めるとともに移送サービスの運営へも支援を考えています。  
Q 今後、運転免許を返納する高齢者が増え、移動手段の確保は今の以上の総合的な施策が必要になると考えるが。  
A 副町長 移動手段の確保は重要ですので、様々な方策を庁内で連携し検討していきます。

学校給食の充実に向けて  
今後の取組は。  
A 学校教育課長 無償化により食への関心が薄れることがないよう児童はもちろん、保護者にも食の重要性を伝えるとともに、生産者との交流も図ります。  
AQ 新給食センターの概要は。  
A 学校教育課長 炊飯施設や見学スペースのある給食センターを考えています。農産物は、農家・農協・給食センターと連携を図りながら有機農産物の利用割合の向上につなげたいと考えています。  
●その他の質問  
・擁壁や法面の安全性



食器のリニューアルも楽しみ

Q 「新」ごみ処理施設「建築に向けての協議がスタートする。協議会の枠組みは1市4町1村（東松山市・小川町・嵐山町・ときがわ町・滑川町・東秩父村）。今後の協議に臨む基本的な考え・姿勢は。  
A 環境農林課長 令和7年12月に基本合意を締結し、今後、本格的な協議を進めていきます。可燃ごみの処理は、令和4年4月から民間委託していますが、将来にわたる持続可能なごみ処理体制の構築は喫緊の課題となっています。今後の協議に際しては「町民の生活環境を守ること」「財政負担の適正化と平準化を図ること」「環境負荷の低減に配慮した施設整備を目指すこと」の3点を基本として取り組んでいきます。また、協議会に参加する各市町村の立場を尊重す

るとともに、信頼関係を構築し、丁寧な協議を図ります。  
AQ 今後の住民への情報提供は。  
A 環境農林課長 協議が進み、「施設整備の基本構想」が決定した段階など、丁寧な情報提供に心がけます。  
●その他の質問  
パトリアおがわの庭園の活用  
団塊の世代が75歳以上になる時代を迎えて



解体を待つ中爪の焼却施設

シリーズ

16の1歩!!

進み続ける議会

Vol.11

2学童クラブの新築に係る予算は6億円を超えるものとなりました。予算審査・議論を経て、本会議では初めてとなる附帯決議を付す結果に。また「14人議会」に向けた16人の歩みは続きます。

令和8年度一般会計予算  
放課後児童施設整備に「附帯決議」を付す!

町立小学校の再編に伴って、2小学校(旧西中及び現小川小)の敷地内に建設される学童保育の整備事業に対し、本会議では初めてとなる附帯決議を全会一致で付しました。



議会の「意思」を町長と教育長に

適正な事業の執行管理や、安易に事業費の増額を行わないこと等を強く要望。議会は事業の動向を注視していきます。



附帯決議文はこちら

5項目の諮問→答申に向けた取組  
嵐山町議会「予算特別委員会」を視察!

議会運営委員会は、高瀬議長からの諮問を受けて嵐山町議会の予算特別委員会を視察(傍聴)しました。議員定数14に向けた移行期間の在り方(答申)について、調査研究に励んでいます。



嵐山町議会の会議の進め方に興味津々



嵐山町議会 留守勝義議長  
傍聴ありがとうございました。当議会では、平成19年3月から当初予算審議を予算特別委員会に付託する方式を取り入れました。課題もありますが、参考になれば幸いです。



諮問文はこちら

議会の広聴活動がスタート  
老人クラブの「声」を聴く!

去る4月21・24・26・28日に、老人クラブの皆さんと「健康といきがい」をテーマに、懇談会を実施しました。いずれの会場もテーマの枠にとらわれず、多岐にわたるご意見が寄せられました。議会に対する叱咤激励もありがたく頂戴しました。各会場の『熱気』は、次号で特集しますのでご期待ください!

みんなとサッカーをすることが楽しみです。(はるきさん)

体育が楽しみです。逆上がりがとくいです。(かおさん)

# わたしの「まんなか」



みどりが丘小学校 校長  
船田真由美さん

## 笑顔の数だけ、成長がある

校長室の窓から見えるみどりが丘の景色は、季節ごとに表情を変え、子どもたちの毎日をやさしく包み込んでいます。校舎のあちこちからは「ここ、どう考えた?」「もう一回やってみよう。」「それ、いいね。」そんな声が聞こえてきます。

ながら、子どもたちは関わり合い、成長しています。本校では「Chance × Challenge = Change」を合言葉に、子どもたちの挑戦を大切にしています。そして、その成長は笑顔となって表れます。

笑顔の数だけ、成長がある。これが、みどりが丘プライドです。

授業の中で、友達と考えを伝え合い、つなぎ、深めていく子どもたち。掃除や給食など様々な活動の中でも「手伝うよ」「一緒にやろう」と自然に声を掛け合う姿が見られます。

挨拶をする、話をしっかり聞く、思いを伝える。当たり前のことを当たり前積み重ね



笑顔いっぱい

次の定例会は 午前10時  
開会予定  
**6月23日(火)～**



本会議や委員会は傍聴することができます。傍聴を希望される方は、会議当日、役場3階議会事務局にお申し出ください。

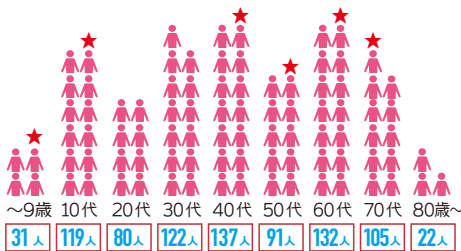
←日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ

議員の 議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ

※2016年5月リニューアル号  
(No.79)以降の合計人数

**839**人 (★印は今号取材)



●今号の表紙●

笑顔いっぱいみどりが丘小へ  
7人の1年生が、楽しみにしていた  
小学校へ入学。はじめは緊張しても  
すぐに笑顔いっぱいになるぞ!

### 編集後記

新年度予算は、10年ぶりに改定された町の最上位計画である「第6次総合振興計画」を踏まえたものである。見開きから10ページまで、計画の7つの目標達成のため議会がピックアップした事業を紹介。新たな気持ちで編集に臨むことができた。(田中照子)

発行責任者：小川町議会議長 高瀬 勉

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋功人 副委員長 鈴木秀尚  
委員 田中照子・笠原規弘・関根慶則  
田中立男・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています